

1. パーツ選定

キットの部品を集めて製作するスタイルの模型において、重要なのが各部に使用する部品の選定。事前に起こしたスケッチなどに準じて、イメージ通りのラインや細部を盛った部品をストックから選び、全体の形状を決めていく。また、さまざまな部品を組み合わせるうちに偶然生まれた形を元に形状を決めていくこともある。使用するキットはガンブラ、戦車、飛行機などのスケールモデル、大砲やバイク、F1など情報量の多い部品など多岐に渡る

2. 切り出し

使用する部品を決めたら作品内で使う部分をナイフやニッパーなどで切り出し、各部品ごとに形状を成形する。パーツを使用する位置などによっては断面をサンドペーパーなどを使ってなめらかに処理することも

3. 接着・固定

パーツを切りだし成形した後、各部を接着して模型全体を組み立てていく。部品の接着には瞬間接着剤、プラモ用セメント、各社から発売されている流し込み接着剤など各種の接着用マテリアルを使用。塗装の手順を考えて部分的に分解できるようにして組み立てていくこともある

HOW TO BUILD?

いままで様々な場所で数多く寄せられたミキシングビルドの製作方法についての質問。作品ごとに多くの手法があるが、このペーパーでは(おそらく)最も一般的であろう方法をご紹介します。

4. パテで埋める

接着したときにできた段差や部品の継ぎ目などにラッカー、エポキシ製の各種パテを埋め込み、硬化後にナイフ、リユーターやサンドペーパーなどで削って成形する

5. ディティール

外形ができあがったら細部にパーツを付け足し、ディティールを作り込む。全体の粗密を考えながら情報量を増やしていく



WHAT TO USE?

模型を製作する上で必要な工具。模型用の工具には様々な種類が存在するが、本項ではミキシングビルドで模型を製作する上で必要な代表的なものを解説する。



ニッパー

ランナーから部品を切り取る、部品を成形するなど物を切る色々な状況で使用。薄刃のものを用意したい

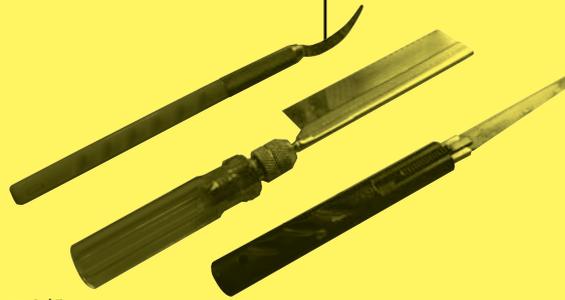
ノコギリ

大きな部品の切り出しなど大型の部材の切断に使用。タミヤのカッターのこなど、いくつか種類がある



ペンチ

金属線の曲げ加工や部品を曲げて折るなど荒っぽい仕事のために一つ持っている便利な工具



ナイフ

いわゆるアートナイフ。パーツの切り出しや刃を立てて部品の表面をこするなどあらゆる局面で使用する

ハブラシ

パテを塗った面を叩いてテクスチャーをつける、ヤスリについた粉じんを落とすなど、歯ブラシも一本あると便利



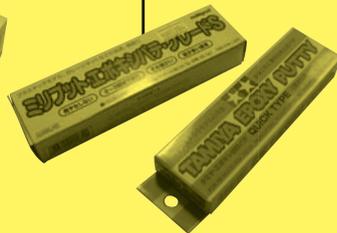
プラモデル

材料として使用するプラモデルの部品。これらのパーツを入手するにはキットを購入する以外にも、専門店やメーカーの直営店でのランナーのバラ売り、メーカー主催のイベント会場で販売されているジャンクパーツなどを探すごとで手に入れることができる



エポキシパテ

主剤と硬化剤を混ぜて硬化させるエポキシ系パテ。粘土のように粘りがあり、自由な形に成形することができる



ラッカーパテ

チューブ入りのラッカーパテは空気乾燥で硬化する。表面にテクスチャーをつけたり隙間を埋めるのに使用



瞬間接着剤 & 硬化スプレー

各部品を接着するのに使用する瞬間接着剤。硬化スプレーを吹き付けることで素早く接着剤を固めることができる



WHAT TO SEE?

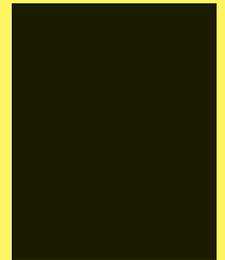
オリジナルの模型を製作する際に大いに参考になる各種の資料類。ここでは、プラスチックチャンバーのメンバーが頻繁に参照している参考資料を紹介する。



Weapon A Visual History of Arms and Armor



One Hundred Aspects of the Moon: Japanese Woodblock Prints by Yoshitoshi



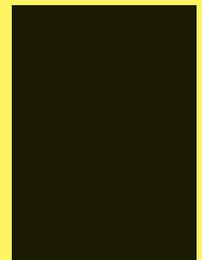
Kanaval: Vodou, Politics and Revolution on the Streets of Haiti



武器甲冑図鑑



鳥山石燕 画図百鬼夜行全画集



悪魔の歴史